

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-03-01		
施設名	荒川授産場				
所在地	東尾久四丁目32番7号				
部課名	福祉部高齢者福祉課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成4年 550,000	0	0	550,000
	増改築①	平成30年 38,263	0	0	38,263
増改築②					
併設施設	荒川区シルバー人材センター				
竣工年月日	平成4年12月25日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年4月1日	職員数	1人	人	
構造	RC造		階層	地上3階・地下1階	
面積	敷地面積		548.84㎡		
	延床面積		1088.52㎡ (うち授産場分534.92㎡)		
設置目的・経緯	高齢者や生活困難者に職業及び技能を提供するため				
関連部署	生活福祉課				
根拠法令等 設置条例	社会福祉法・生活保護法・荒川区立授産場条例・荒川区立授産場条例施行規則・要綱				
駐車場の状況	4台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	荒川区シルバー人材センター	期間	平成31年4月 令和6年3月	から まで	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般の企業に就職することが難しい高齢者や生活困難者に対し働く場所と仕事の提供を行う。</li> <li>任意の高齢者団体等に対し、会議室の貸出を行う。</li> </ul>					
対象者	一般の企業で働くことができない60歳以上の高齢者及び低所得者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後4時				
	休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、お盆休み、年末年始				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
	年間場内利用者延人数 (人)	248	215	207	205	210
	年度末利用者数 (人)	21	18	16	17	18
	開所日数 (日)	222	225	225	216	225
	平均月額支払工賃 (円)	40,958	40,276	36,721	37,180	29,933
に指定 に係る 管理 費	指定管理料 (千円)	17,587	17,394	16,949	16,992	17,990
	指定管理者の支出合計 (千円)	17,587	17,394	16,949	16,992	17,990
	指定管理者の人件費 (千円)	9,709	9,352	9,416	1,401	1,401
備考	30年度までの協定では人件費に授産場長と指導員分を計上していたが、令和元年度からの協定では指導員分を管理費として計上しているため、人件費が減っている。					

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	16,960	17,488	528	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	438	438	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	23	0	▲ 23	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	14,920	15,953	1,033	その他	17,164	17,109	▲ 55	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	17,164	17,109	▲ 55	
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 14,739	▲ 16,770	▲ 2,031	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	31,903	33,879	1,976	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 14,739	▲ 16,770	▲ 2,031	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 14,739	▲ 16,770	▲ 2,031	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	689,382	673,429	▲ 15,953	その他の流動負債	0	0	0
	土地	486,446	486,446	0	固定負債	0	0	0
	建物	590,858	590,858	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 387,922	▲ 403,875	▲ 15,953	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	6,596	6,596	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	▲ 6,596	▲ 6,596	0	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	689,382	673,429	▲ 15,953	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	689,382	673,429	▲ 15,953	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	689,382	673,429	▲ 15,953	
資産の部合計	689,382	673,429	▲ 15,953					
備考	行政費用の物件費は指定管理料とAEDリース料である。内訳としては指定管理料に17,474千円、AEDリース料に14千円かかっている。維持補修費に計上されているのは非常照明具の交換にかかる家屋等修繕費分である。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	65	68	66.0	68.7	-
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	31	31	29	28.9	-
	1㎡あたりコスト(円)	60,770	60,411	59,641	63,335	-
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	55	54	56	8.2	-
	開館1日当たりコスト(円)	146,428	143,622	141,791	156,847	-
	利用者1人当たりコスト(円)	131,077	150,302	154,121	165,263	-
備考	人にかかるコストの割合が減っているのは、令和元年度分からの協定で指導員分を管理費として計上しているためである。各コストが増えているのは、行政費用(主に減価償却費)の増額によるものである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	年度末利用者数(人)	目標値 21	21	21	18	18
		実績値 21	18	16	17	18
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○電気設備及び給排水設備等の老朽化が目立ってきている。 ○安定した作業工賃を確保するため、受注先の開拓に努める必要がある。 ○21人の定員枠で実施しており、今後増加する対象となる高齢者に対応しきれない可能性がある。また、シルバー人材センターとの役割分担の中で、あり方の検討が必要となっている。					
課題に対する現時点での考え	○施設の計画的改修を実施していく。 ○受注取引先との連絡を密接にするとともに、きめ細やかな納品スケジュールを組むなどにより、取引先の信頼を高める努力を続ける必要がある。 ○指定管理者と連携し、安定的な運営を図る必要がある。 ○他区の動向等を調査・検討し、方針を定める。					
議会、利用者等からの意見						

